

様式第7号

議長	副議長	局長	次長	係長	



## 行政視察報告書

令和 5年 8月5日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 森岡聡子 (印) 議員 大月隆司 (印)  
議員 仁科文寿 (印) 議員 栗尾典子 (印)  
議員 桑田昌吾 (印) 議員 (印)

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

### 記

行程 令和5年8月2日(水) 14:30～15:50 旭川市 ICT パーク  
(北海道旭川市3条通8丁目842-2 0166-85-6232)  
3日(木) 9:30～10:40 旭川市市役所  
(北海道旭川市6条通9丁目 )  
11:00～12:00 旭山動物園  
(北海道旭川市東旭川町倉沼 0166-36-1104)  
15:30～17:00 江別市市役所  
(北海道江別市高砂町6-5 )

視察案件	交流人口増加に対して～複合施設と再生施設～ 新庁舎建設・ゴミ出し困難者対応
期日	令和5年8月2日(水) 14時30分 ～ 15時50分
応対者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	旭川 ICT パーク コクゲキ

<視察目的>

笠岡市において人口減少は問題の一つである。人を呼び込み街に活気をもたらすためにも、新たな観点を取り入れ人の獲得交流人口の増加をどの様にすればよいか、又、企業の発展や市内のテナントの利活用を考える。どのような事業を考えて実行しているのかを、この度の視察を通し活用、応用できるものが無いか観光スポットの取組と展示状況を勉強しに行く。新たな施設、既存施設の利活用、補助金あり気ではない事業形態を参考にする。

近年さまざまに発生懸念がある各災害に対して、防災拠点・指揮拠点をどの様に考えているのかどんなコンセプトでどの様な新庁舎としたのかを教授して貰う。

など笠岡市が抱える課題を地元議員さんや市役所の職員との意見交換を行う。

●旭川 ICT パーク コクゲキ(こくみん劇場)

ICT パーク コクゲキはまちなかの賑わい、ICT に関心が高い人材の育成、IT 関連企業誘致や最先端技術の導入などを目的に、旭川に人と密接に繋がりのある建物を利活用し令和 3 年 2 月 7 日に開設をされた。なじみのある建物とは、以前までは地元の映画館やホテルが入っていたビルを単市の税金だけでなく、企業との連携でリノベーションした施設。e スポーツ(関係人口 1 億人以上)を通じた交流イベントだけで人を集めるのかと思っていたが、旭川市街地の課題の洗い出しから方向性打ち出しをしている。IT 企業の進出・IT に関わる人材育成・近年の状況化での働く場所確保その事をする事で、人の動きが生まれ中心市街地まちの賑わいづくりをしている。職員が中心だけではなく DMO・観光・一般社団法人での連携で実現している。市の事業予算は 4,000 万円で PC リース・人件費・光熱費などを賄い、収支はコロナ禍では 1,000 万円でコロナ明けでは 2,000 万円程度の収入が発生している。最先端の技術を利用し学校教育にも活用、AI や IOT などへ触れる機会を創作しこれからの人材育成をしている。

若者への教育・IT 推進など

内装だけのリノベーションでまちに溶け込む建物、市民の記憶に残す。市の補助金だけをあてにするのではなく、企業とのタイアップを実現出来ていると感じた。

e スポーツ・AI・IoT などの活用・フリースペースなどもうまく利活用し子どもの想像力を広められる場所であると感じる。NTT 東日本やスマートイノベーションラボなどとの共同、いいオフィスと題しセキュリティー強化したオフィスでビジネス出張者への場所の提供していることまで考えると、「多様な ICT 人材を輩出=人づくり」、「中心市街地への来街者増加、地域産業の活性化=賑わいづくり」は成功例として考えられる。笠岡市のように補助金有りきではない事業が進んでいる。当市もこの様な形を検討して実施し出来れば

もう少し変わった市内での循環型事業が可能になると感じる。

概 要

視察案件	交流人口増加に対して～複合施設と再生施設～ 新庁舎建設・ゴミ出し困難者対応
期日	令和5年8月3日(水) 時間 9:30～10:40
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
	<p>旭川市役所</p> <p>●旭川市 市役所</p> <p>現庁舎は S33 年建築の為、旭川市総合庁舎建替をする。総合庁舎は建設場所の検討、選定を2年間かけて実施。人通りの状況、駅近郊、代替え地での検討、路線バス運用、駐車場、周辺への行政・公共機関状況など様々な観点から選定し現在の市役所となりの土地に建設することになった。(57 団体からなる審議会で建設検討された) 全フロアー9階建設・7F 市長・副市長室設置、8F に議場関係</p> <p>今あるものを移転ではなく街のバランス、公共交通のバランスも考慮を十分加味されている。庁舎の内容はまとまった課を同一フロアーでまとめ、働きやすさ、市役所に来てもらいやすさを考慮して設計している。(3F フロアーは 130～140 名程度) 建設方式は耐震メインの建設(一部は制震ダンパーも使用)とし、万が一での地震災害などでも地元企業での点検が早期対応できるものを採用した。</p> <p>○障がい者に対応したトイレ(右麻痺・左麻痺にも対応し機能トイレを設置)、</p> <p>○保育園・認定こども園申し込みなど子どもが来るスペースに落書きボードを設置し子ども時間に対応も考えている。</p> <p>○防災課を市長室と同じフロアーにおくことで災害対策本部など災害時での指揮系統の明確化と情報収集・周知徹底が容易に対応できる構造となっている。</p> <p>○地下は水害を考慮し倉庫としている。</p> <p>総合庁舎建設にあたり、市役所内の家具は旭川家具で発注し地元企業の活性化を図っている。</p> <p>総合庁舎建設にあたり、建設費用を一部市民からの寄附も活用した。(資料あり)</p> <p>「多くの市民が新庁舎建設事業に参加できる取り込みで「オール旭川による新庁舎建設」にしたそうです」</p> <p>寄附募集から新庁舎9階の壁に寄付者の名前を銘板設置</p> <p>この度は、地元市議会議員さまにも同行して頂き、市役所側の意見だけでなく、議会としての意見も聞いて参考になった。</p> <p>市としても、まち中での人の動き・活性化・公共交の利用しやすさを考慮し動きやすいものにしてている。笠岡のように市役所廻りに集めればいいではなく全体感を想像・し検討に入れている。一部地域の活性化ではない取組が素晴らしく、笠岡でも活用したい。</p> <p>市役所内で会議と休憩室の在り方も考慮し働き方改革を庁舎内で実態していた。</p> <p>笠岡市が新庁舎建設をする時には、より良い意見として活用して行きたい。</p>

視察案件	交流人口増加に対して～複合施設と再生施設～ 新庁舎建設・ゴミ出し困難者対応
期日	令和5年8月3日(木) 時間 11:00～12:00
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	旭山動物園
	<p>●旭山動物園</p> <p>観光客にレポートをして貰うための工夫  議会からの質問を参考に、動物園自体の変革をしたとの事  その一つが、動物を身近で見れる対応とし、冷房や暖房の噴射口をお客さんに見え  易い場所に設置することで動物が一定以上いる居場所をつくる。動物の見せ方を確  認した。</p> <p>○水中の動物をどう身近に見せて、感動をさせるか。  ○動物と人間の通り道の工夫をしていた。</p> <p>園自体も大きい為、入場門を数か所に分けることも改善。雨の日でも園専用の傘な  どを作り、観光客が傘を持っていなくても濡れない工夫をしていた。</p> <p>園の雑草管理をしっかりしており清掃を日々実施している。</p> <p>全体的に相手側を考え、リピータでも飽きさせない工夫を実施している。</p> <p>毎年、行政の予算を必ずつけ、補修などの維持管理への対応をしているそうである。  計画を中長期で考えるため。</p> <p>作ってからの管理をどの様にするのか、動物を見せる工夫、集客率を落とさない事  を考えた、行政・議員の話し合いが見て取れた。</p> <p>笠岡としてもカブトガニ博物館や前の公園を同様な考えでリニューアルへの検討は  必須と考える。恐竜の色を塗りなおすだけでない、見せ方を検討すべきと感じた。</p>
添付書類	

視察案件	交流人口増加に対して～複合施設と再生施設～ 新庁舎建設・ゴミ出し困難者対応
期日	令和5年8月3日(木) 時間 15:30～17:00
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	江別市役所
	<p>●江別市 市役所</p> <p>ごみサポート収集がどんなものであるか。</p> <p>江別市のごみステーションは10戸単位で設置をし、市からはステーション設置への補助金は無し。内容を確認すると笠岡市と比較してリサイクル率や分類が異なる。</p> <p>又、焼却施設がガス化溶融炉の為、プラ関係が燃料になると言う違いがあり回収率が違う。ステーションもごみネットのみで、不燃物も同様の出し方である。</p> <p>根本的にやり方、考え方が違うものである。</p> <p>ただ、高齢者への配慮は考えながら笠岡市としても今後様々な回収方法を検討しなければと感じました。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺